

## 「ふくやま」

### 日本語サロン開設

ふくさき日本語ボランティアの会

副会長 中 塚 喜 博

現在、福岡町内の在住外国人は十二月末時点で三百二十八名に達し、増加傾向にあります。

私たちは、日本語学習や日常生活のアドバイスなど、在住外国人への支援が必要だと感じ、昨年四月に誰でも気楽におしゃべりできるサロンを立ち上げました。

月に二回、第二、第四日曜日午前十時から十一時三十分まで、文化センターで無料で開設しています。

現在、学習者は二十名程（中国、ベトナム、ブラジル、アメリカ等の出身者）です。サポートするボランティアは二十四名です。

開設時に兵庫県国際交流協会の講師の方から指導方法を教わり、今ではスタッフもお互い楽しみながら進めることができるようになりました。

内容は、日常生活に密着した買い物仕方、電車やバスの利用方法、銀行や病院でのやり取りなど、状況に応じて必要な会話を習得段階別のグループで学習しています。



また、お互いの国の文化を紹介して、国際交流を図っています。

サポートは決して難しくありません。外国語が話せなくても、関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。

また、日本語学習を希望する外国人の方がおられましたら是非、誘ってあげてください。

事務局、ボランティアスタッフ一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## クラブ紹介

### 「夢に向かって」

和太鼓・club F

代表 佐々木 貴 規

私たちは、平成十九年によさこい踊りとのコラボレーションを目的に、平成二十六年二月に公民館クラブに登録、四月から活動を開始しました。毎月、第二、第三、第四金曜日十九時～二十一時まで文化センターで練習しています。

講師の内海いっこう先生は、東京国際和太鼓コンテスト「大太鼓部門」で入賞されるなど、世界的なプロの和太鼓奏者です。

活動八年目になりますが、これまで順風満帆な道のりだった訳ではありませんでした。練習場の確保の問題やメンバーの減少でクラブの存続の危機もありました。しかし、発足メンバーの努力や先生のサポートにより、現在も活動を行う事が出来ています。

発足当時小学二年生だったメンバーも、現在は中学三年生になり、プロの和太鼓奏者を目指し、日々練習に励んでいます。型にはまらない演奏スタイルは、



昨年十一月の公民館クラブ発表会でも、好評を頂きました。

当クラブは大人から子供まで楽しめる練習内容になっており、今年度からはエンターテイメント性向上の為、新見美香先生による篠笛クラスも始動しました。

日本古来の楽器の素晴らしさ、楽しさが実感出来るクラブを目指し、今後も邁進して参ります。

**第三十三回  
福崎町美術展作品募集**

第三十三回福崎町美術展（公募展）の作品を募集します。  
皆様方のご応募を心よりお待ちしております。

**\*会期** 平成二十七年  
五月十五日（金）～  
五月十七日（日）

**\*会場** 福崎町エルデホール

**\*主催** 福崎町・福崎町教育委員会

**\*部門** 日本画・洋画・書・写真・  
彫塑工芸

応募は一部門一人一点、未発表の作品に限る。

**\*作品搬入**

平成二十七年五月九日（土）  
午前九時～午後四時

**\*審査員**

日本画 平内 安彦  
洋画 初田 寿  
書 福島 松韻  
写真 柳原 香  
彫塑工芸 山本 和子



**山桃忌奉賛  
第三十回短歌祭作品募集**

柳田國男先生と井上通泰先生の命日にちなみ、両先生を偲ぶ会として、毎年八月に柳田國男・松岡家記念館により山桃忌が行われています。

短歌祭は文化協会と福崎短歌会により、山桃忌の当日に行っています。本年の短歌祭は、左記の要領で作品募集します。

**記**

**日時** 平成二十七年八月一日（土）

**場所** 福崎町文化センター

**主催** 福崎町文化協会・福崎短歌会

**作品** 未発表のもの・一人二首以内

**応募料** 一首につき五百円

**要領** 原稿用紙に楷書で縦書き

**宛先** 福崎町文化センター内

文化協会事務局 宛

**締切** 平成二十七年六月三十日（火）

**賞** 通泰賞・町長賞・議長賞・教育長賞・文化協会会長賞・商工会長賞・JA兵庫西賞・神戸新聞社賞の各賞と佳作多数

**選者** 楠田 立身 先生

（兵庫県歌人クラブ顧問）

**\*表紙の写真\***

河童の河太郎と昨年九月二十六日にリニューアルした、二代目河次郎。柳田國男の著作『遠野物語』に出てくる河童の記述を基に、体の色は赤く、表面もぬめつとした質感に仕上がっています。髪の毛も随分伸びて、尻子玉を食べようとしている姿は、初代よりも気持ち悪さがパワーアップしています。

出没时间は今まで通り、朝の九時から夕方六時までの毎時〇分と三十分の三十分間隔です。



初代 河次郎



公開後の様子

**編集後記**

たくさんの方々のご協力により、福崎町文化第三十一号を発売することができました。

玉稿をお願いしました皆様方には大変お忙しい中執筆いただき、ご協力くださいましたこと厚く御礼申し上げます。

ありがとうございます。